

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）事業一覧

佐賀県 基山町

	事業名	事業の概要	事業イメージ	事業費(予定)
1	基山ダブルジビエ活用プロジェクト	<p>基山町では農家の高齢化と後継者不足に伴い、耕作放棄地の拡大防止対策や鳥獣による農作物の被害対策が喫緊の課題となっている。既に実施している耕作放棄地解消のためのエミューの飼育や農作物被害対策のためのイノシシの捕獲等の取組みの先に、それらの肉等を「ダブルジビエ」として活用する連携体制を構築する。駆除・飼育からと畜・捕殺の後、食肉処理を経て、一般消費者・観光客へ精肉の提供を行い、また町内飲食店等と連携した新しいメニューの開発など地域産業振興と観光振興による広範な地域活性化を目指す。</p>		H29年度: 29,412千円(実績)
				H30年度: 2,155千円(実績)
				R1年度: 2,028千円
2	基山町合宿所整備プロジェクト	<p>基山町のアクセスの良さを活かし、町内の体育施設及び文化施設では、地域住民のスポーツ振興や健康増進の取組みはもとより、様々なスポーツ種目の九州大会等が開催されるなど広域的な利用が進んでいる。一方で基山町を通過点から交流拠点にすることを目指して、訪れた参加者等が町内に滞在し、地元文化に触れ、交流し、地元の食を味わうなど、町の良さを満喫してもらうため、町内に宿泊機能を備えた合宿所を整備し、まちのスポーツ振興とともに町民総意のおもてなし体制の構築やまちの活性化を図る。</p>		H29年度: 32,458千円(実績)
				H30年度: 7,299千円(実績)
				R1年度: 7,647千円
3	きやまRESASデジタルアカデミー事業	<p>基山町では平成28年4月に基山町立図書館を新設し、多世代が集うアカデミックサロンとして活用し、地域情報拠点かつ交流拠点としての機能の充実を目指している。地方創生実現に向けて提供されるRESAS(地域経済分析システム)にて、ビックデータを活用した情報の収集と地域課題を分析、解決のための方策を町民が提案する機会を創出し、地域住民のスキルの向上を図る。またIT活用人材育成を促進するなど、創業者支援、地域経済の活性化を見据えた魅力ある町として、若者の定住促進を図るとともに移住者の定住促進を目指す。</p>		H29年度: 1,508千円(実績)
				H30年度: 985千円(実績)
				R1年度: 1,000千円
4	基山草スキー再生プロジェクト	<p>基山町には、古代史に書かれた日本最古の朝鮮式山城「基肆城」を有する基山(きざん)があり、基山町史には、九州随一のローンスキー場と記されている。しかし、歴史と観光名所として知られた基山・基肆城・基山草スキー場も近年では訪れる人が激減しており、折角の資源が有効に生かされていない状況である。昨年の基肆城築造1350年事業の一環として行った「草守基肆(くさすきい)大会」では、昔を知る人から懐かしさとともに再興を求める声が多かった。そこで、「草守基肆世界大会」を開催を通じ草スキーの再興を図る。</p>		H29年度: 5,107千円(実績)
				H30年度: 2,390千円(実績)
				R1年度: 2,500千円
5	基山町子育て支援施設整備プロジェクト	<p>基山町では、子育て世代において、子育て中の母親は就労意向やスキルは高いが、労働時間等がネックとなり就労することができず社会で活躍する機会が与えられていないといった課題がある。子育て世代が安定した就労につくことができ、所得の向上や安定した生活を送ることにより、安心して出産や育児を行えるように支援するため、病後児保育施設を建設し、病気の治療中又は回復期にあり、集団保育や保護者の保育が困難な児童を一時的に預かり、児童の健全な育成を図る環境を整える。</p>	 <p>※イメージ画像になります。</p>	—
				—
				R1年度: 2,247千円